

四 第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版） に基づく平成29〔2017〕年度事業実施概要

I	職業生活における女性活躍の推進	
I-Ⅰ	雇用等における女性活躍の推進	19
I-Ⅱ	農林水産業、商工業等に係る自営業における女性活躍の推進	26
I-Ⅲ	仕事と子育て等の両立できる環境整備の推進	30
II	男女共同参画を推進するための基盤の整備	
II-Ⅰ	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	35
II-Ⅱ	男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進	39
III	男女が安心して暮らせる環境の実現	
III-Ⅰ	家庭・地域における男女共同参画の推進	45
III-Ⅱ	生涯を通じた男女の健康と生活の支援	49
III-Ⅲ	男女共同参画を阻害する暴力等への取組	57
	計画の推進	65

第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）を着実に推進するため策定された第二期実施計画（改訂版）に掲げる事業について、平成29年度の実施状況を概要としてまとめたものです。

なお、担当課名は、平成30年度の名称となっています。

I 職業生活における女性活躍の推進
I - I 雇用等における女性活躍の推進

1 女性活躍推進の機運醸成

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 「チャレンジャーズ・アワード2017」の開催</p> <p>「働く女性のネットワーク三重」に関する取組</p> <p>(2) 「女性の大活躍推進三重県会議」の運営を通じた県内の女性活躍推進の気運醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえの輝く女子フォーラム2017」（9月22日開催）の一環として、働く女性の挑戦を称える「チャレンジャーズ・アワード2017」を実施し、さまざまな職業分野で活躍する人材を掘り起こすとともに、新たに10名の働く女性のロールモデルを創出した。今回は、自ら事業を興す女性起業家だけでなく、会社など組織内で自身のスキルを生かし貢献する人や、社会的課題の解決に向けた活動を行う人など、より幅広い分野でロールモデルが誕生した。 またモデルたちの取組について、県の広報媒体等による情報発信や、三重テラスでの「働く女性のネットワーク交流会」（2月17日開催）を通じ、県内外への浸透に取り組んだ。 ・男女共同参画センター「フレンテみえ」では、県内の働く女性で構成される「働く女性のネットワーク三重」からの提案を受け、「働く女性の『ロジカルシンキング』講座」を企画・実施した。 ・「女性の大活躍推進三重県会議」への加入促進に取り組んだ結果、68団体の新規加入があり、会員数は418団体となった。（平成30年4月2日現在） 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 「女性の活躍推進三重県会議」の運営を通じた県内の女性活躍推進の気運醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の活躍推進三重県会議」において実施する、県内の事業所等における女性の活躍推進に向けた取組を「みえの輝く女子プロジェクト」と命名し、企画委員会において企業目線での意見を伺いながら、①女性が活躍できる職場環境と風土づくり、②トップおよび男性の意識改革、③働く女性のモチベーション向上の3つの柱に沿った支援を行った。 ①女性が活躍できる職場環境と風土づくり 女性が活躍できる職場づくりに取り組んでいる県内の先進取組企業10社の事例等を掲載した事例集「女性のチカラで企業力アップ! ジョアアップMie」を作成した。また、事例集掲載企業の取組を「女性の活躍推進三重県会議」のホームページやFacebookページにも掲載し、モデルケースとして広く発信した。 ②トップおよび男性の意識改革 「みえの輝く女子フォーラム2017」（9月22日開催）において、県内企業の経営者や管理職等リーダー層を対象に「女性活躍」や「ダイバーシティ経営」をテーマにした基調対談およびパネルディスカッションを開催した。 ③働く女性のモチベーション向上 「みえの輝く女子フォーラム2017」（9月22日開催）の一環として、働く女性の挑戦を称える「チャレンジャーズ・アワード2017」を実施し、新たに10名の働く女性のロールモデルを創出するとともに、県の広報媒体等による情報発信や三重テラスでの「働く女性のネットワーク交流会」（2月17日開催）を通じ、ロールモデルの県内外への浸透に取り組んだ。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(4) 情報誌の発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、情報誌「Frente」を発行した。 年4回発行、各10,000部以上 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>Facebookページを活用した情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな媒体を用いて伝わりやすく広報・啓発を行うため、「女性の活躍推進三重県会議」のFacebookページを活用して、フォーラムの開催告知やイベントの実施結果等に関する情報を発信した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(5) 女性の異業種間交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえ・花しょうぶサミット」を通じて、女性経営者等の交流の場を設定し、女性の能力発揮等につながる支援を行うことにより、更なる女性の活躍を促進した。 内容：講演会、勉強会およびグループディスカッション 参加者数：84名 	<p>雇用経済部雇用対策課</p>
<p>(6) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が活躍できる職場づくりに取り組んでいる県内の先進取組企業10社の事例等を掲載した事例集「女性のチカラで企業力アップ! ジョアアップMie」を活用し、女性活躍推進法および同法に基づく一般事業主行動計画について周知を行った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>女性活躍をテーマにした出前講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性活躍推進法に基づく企業内での女性活躍をテーマにした出前講座「フレンテトーク」を県内企業に向けて実施した。 実施回数：7回、参加者数：520名 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

2 男性中心型労働慣行の見直しと働き方改革の促進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組支援</p> <p>(2) 「イクボス」の推進</p>	<p>・働き方改革に取り組む企業にアドバイザーを派遣し、先進事例発表や意見交換を行う報告会の開催など、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組を推進した。 アドバイザー派遣：46社</p> <p>・職場でともに働く部下の仕事と家庭の両立を応援する“イクボス”の取組や精神が広がり、女性の活躍や男性の育児参画が当たり前となる社会をめざすため、企業経営者等で構成する「みえのイクボス同盟」を発足した。 発足日：平成28年4月19日（火） 同盟加盟数：150企業・団体（平成30年3月31日現在）</p>	<p>雇用経済部雇用対策課</p> <p>子ども・福祉部少子化対策課</p>

3 仕事と生活の調和の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 三重県内事業所労働条件等実態調査の実施	・県内の事業所の実態を把握するため、三重県内事業所労働条件等実態調査を実施した。	雇用経済部雇用対策課
「三重の労働」の発行	・「三重の労働」を発行した。 発行回数：6回（ホームページ「おしごと三重」に掲載）	雇用経済部雇用対策課
仕事と生活の調和推進のための環境整備	・労使団体と連携して、人事労務担当者等を対象とした働き方改革に関するセミナーを開催し、県内企業等へのワーク・ライフ・バランスの普及に取り組んだ。 開催日：平成29年12月12日 参加者数：53名	雇用経済部雇用対策課
(2) 企業表彰・認証の実施	・ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいる企業等を募集し、優れた取組を県内に広めることにより、地域社会全体での「働き方改革」の取組推進を図ることを目的に、「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度を実施した。 ○登録企業48法人のうち、6法人を表彰	雇用経済部雇用対策課
(3) 県庁における「ワーク・ライフ・マネジメント」の推進	・ワーク・マネジメントの推進、ライフ・マネジメント支援の推進、意識・組織風土改革の推進を重点方針として、時間外勤務の削減や年次有給休暇の取得促進等に労使協働で取り組んだ。	総務部行財政改革推進課

4 雇用環境の整備

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 先駆取組企業を紹介する事例集の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が活躍できる職場づくりに取り組んでいる県内の先駆取組企業10社の事例等を掲載した事例集「女性のチカラで企業力アップ! ジョアアップMie」を作成した。また、事例集掲載企業の取組を「女性の活躍推進三重県会議」のホームページやFacebookページにも掲載し、モデルケースとして広く発信した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
ポジティブ・アクション取組事例の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・知事表彰（「みえの働き方改革推進企業」知事表彰）を受けた企業の取組事例をパンフレット等に掲載・配布し、周知啓発を行った。 	雇用経済部雇用対策課
労働相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者から寄せられるさまざまな労働問題を解決するため、「三重県労働相談室」を設置し、専任の相談員がアドバイスをを行うとともに、専門的な相談には弁護士相談を実施した。 相談件数：560件 	雇用経済部雇用対策課
建設工事入札時の評価項目の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事の総合評価方式において、関係部局と調整し「男女共同参画」や「次世代育成支援」など企業の社会的責任等にかかる取組を評価しており、継続評価を行うことで建設業界でもこのような取組を徐々に広げた。 	県土整備部公共事業運営課
物件関係入札時の評価項目の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・物件関係（清掃、警備業務等）の総合評価一般競争入札において、「男女共同参画」や「次世代育成支援」など、企業の地域社会貢献度を評価項目として設定している。 平成29年度総合評価一般競争入札（清掃、警備業務）実施件数7件（WTO案件3件を除く）のうち評価項目設定は7件 設定率：100% 	出納局会計支援課
(2) マタハラのない職場づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントのない職場づくりのため、企業訪問時に「職場におけるマタハラ、パタハラ防止マニュアル」を配布・説明するとともに、市町による企業訪問等においても同冊子を活用し、県内の企業等へ広く取組を促した。また、具体的な事例や相談窓口を記載した労働者向けリーフレットを県内各地で配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 「女性が働きやすい医療機関」認証制度の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の主体的な取組を通じて、勤務環境改善の取組を促進するため、「女性が働きやすい医療機関」認証制度の認証医療機関の募集を行い、審査の結果、2医療機関を認証した。 	医療保健部地域医療推進課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(4) 病院内保育への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の病院内保育施設における保育士の人件費の一部を助成した。 助成保育施設：24施設 	医療保健部地域医療推進課
県立病院内保育所における保育サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師等の職業生活と家庭生活の両立を支援するため、こころの医療センターに設置している院内保育所において、保育サービス（夜間保育、延長保育、一時保育を含む）を提供した。 	病院事業庁県立病院課
(5) 多様な勤務形態の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方の取組として、平成29年6～9月にかけて時差出勤勤務を実施した。 	総務部人事課
(6) セクシュアル・ハラスメントの防止	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアル・ハラスメントの防止を含めた服務規律の確保や不祥事防止について、新規採用職員研修や新任所属長研修等での周知徹底、ハラスメント相談窓口リーフレットの配布を行った。 ・ハラスメント外部相談窓口を設置した。 相談方法：専門相談員が電話で対応 相談時間：月～金曜日12時～21時 土曜日 9時～17時 	総務部人事課

5 女性の再就職支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 女性の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産等で離職し、再就職をめざす女性を対象として、就労に関する相談会や交流会等を開催し、就労に必要な環境づくりを支援した。 定期相談・出張相談等：297件 交流会：19件 就労マッチングイベント：参加企業：21社 参加女性：41名 就労に関する啓発セミナー：参加企業：18社 参加女性：8名 ・ 再就職への不安を払拭できるよう、再就職にあたって必要となるスキルアップ講座と、離職ブランク回復のための企業実習を組み合わせた支援プログラムを実施した。（16名の研修生中13名が再就職） 	雇用経済部雇用対策課
(2) 能力開発への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会情勢の変化やニーズに対応した職業訓練の実施を進めるとともに、関係機関と連携し積極的にPR活動を行った。 〈津高等技術学校 普通職業訓練 短期課程〉 パソコンCAD科：6か月課程×2回 延べ15名（うち女性9名） オフィスビジネス科：6か月課程×2回 延べ30名（うち女性25名） OA事務科：障がい者対象（1年課程） 延べ6名（うち女性1名） 委託訓練：OA系、介護系、医療事務系47講座 （3か月、2年） 延べ547名（うち女性442名） 	雇用経済部雇用対策課
(3) 出産・育児等により退職した女性医師等に対する復帰支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産・育児等により退職した女性医師等に対して情報提供、再就業の相談など、復帰支援の取組を進めた。 	医療保健部地域医療推進課
出産・育児等により退職した潜在看護職員に対する就業相談・研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在看護職員に対する就職相談、無料職業紹介、就職説明会の開催および復職に向けた実技研修を実施した。 就職相談：延べ10,788件 無料職業紹介・斡旋による就業者数：682名 就職説明会の開催：4回 実技研修の参加者数：27名 	医療保健部地域医療推進課

I - II 農林水産業、商工業等に係る自営業における女性活躍の推進

1 方針決定の場への女性の参画促進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 男女共同参画推進 施策等の情報提供 の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地域で開催する農村女性アドバイザー研修会に出席し、改めて男女共同参画推進について情報提供を行った。 研修会数：8回 参加者数：延べ67名 発展途上国水産行政職員を対象とするJICA主催の研修を招致し、「ジェンダーの視点に立った漁村開発（水産起業支援）」をテーマに、三重県の女性漁業者等との交流の場を設けた。 	<p>農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課、森林・林業経営課</p>
<p>(2) 農山漁村のつどいの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」との共催で「第30回農山漁村のつどい」を開催した。 「農山漁村における“共助、とは～減災・復興と多様性について考える～”というテーマで、事例報告、講演および農林水産品の展示・即売を実施した。 開催日：平成29年11月11日（土） 開催場所：フレンテみえ 参加者数：206名 	<p>農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課、森林・林業経営課</p>
<p>(3) 女性農業委員選任の働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会法の改正を機に、女性農業委員の選任を促した。平成30年度に改選を予定している8農業委員会事務局を訪問し、直接の働きかけを実施した。 	<p>農林水産部担い手支援課</p>
<p>(4) 農業委員会、農漁協役員等に女性が参画するための意識啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会法改正を機に、農村女性アドバイザー研修会（各地区および新任アドバイザー研修）において、新制度の周知徹底と農業委員会への参画に向けた取組を行った。 研修会数：8回 参加者数：延べ67名 	<p>農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課、森林・林業経営課</p>
<p>農山漁村女性団体間の交流・連携を進め、女性の社会参画を共通の問題として提起</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体代表（JAみえ女性連絡会議、漁協女性部連合会、Agriロマンみえ、酪農女性会議、畜産女性の会、農村女性アドバイザー、指導農業士会）とともに農山漁村のつどい実行委員会を開催し、男女共同参画推進のための企画を検討し、「第30回 農山漁村のつどい」を開催した。 	<p>農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課、森林・林業経営課</p>

2 女性が働きやすい環境の整備

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 農村女性起業活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 各地域において、女性起業家や起業希望者の経営管理能力向上、農産加工技術向上等を目的とした研修会等を開催した。 ※シリーズ開催は1回としてカウント 開催回数：23回 参加者数：延べ578名 	農林水産部担い手支援課
(2) 畜産女子の取組	<ul style="list-style-type: none"> 畜産女子の活躍を促進するため、県内農業高校生に対する畜産への理解促進等を目的とした畜産女性ネットワークの取組を支援した。 県内農業高校生を対象とした出前授業：1回 	農林水産部畜産課
(3) 水産業に携わる女性の交流・連携、ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 事務局として、漁村女性アドバイザーが加入する三重県漁業士会の運営を行った。 漁村女性アドバイザー会員数：8名 	農林水産部水産資源・経営課
(4) 農村・漁村女性アドバイザーの新規認定	<ul style="list-style-type: none"> 農村・漁村女性アドバイザーを新規に認定した。 農村女性アドバイザー：5名（計126名） 漁村女性アドバイザー：0名（計13名） 	農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課
アドバイザー研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 農村・漁村女性アドバイザー研修を実施した。 県内全地域を対象とした研修会：5回 （農村2回、漁村2回、共同1回） 地域単位での研修等：7回（農村7回） 	農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課
(5) 農業、漁業に従事する女性対象に、経営参画に向けた経営能力・生産技術等の向上を図る研修会	<ul style="list-style-type: none"> 経営能力向上をめざした雇用管理研修や栽培技術等の研修会を実施した。 開催回数：8回（農業） 参加者数：延べ215名（農業） 漁村アドバイザー等を対象に研修会を実施した。 県内全地域を対象とした研修会：2回 	農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課
商工団体の女性部等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 商工団体の女性部による、リーダーの養成、経営参画、起業の促進等の取組を支援した。 講習会等の開催数：10回 参加者数：延べ617名 	雇用経済部中小企業・サービス産業振興課

3 家族的経営における働きの評価と仕事と生活の調和の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 家族経営協定締結の推進</p> <p>農漁協、森林組合の女性組合員数把握、自営業における女性従事者の経営参画促進</p> <p>(2) 家族従事者の働き方を学ぶ機会を提供</p> <p>(3) 酪農ヘルパー制度の利用促進</p>	<p>・経営改善計画策定、制度資金活用、ライフステージの変化等の機会を通じて、家族経営協定の締結を推進した。 29年度新規締結農家数：9戸（累計：384戸）</p> <p>・農業・漁業協同組合、森林組合の正組合員の女性割合を把握し、公表した。 （正組合員における女性割合） 農業協同組合 19 %（平成29年度） 漁業協同組合 8.5 %（平成28年度が最新値） 森林組合 9.3 %（平成28年度が最新値）</p> <p>・普及組織による6次産業化研修を実施した。 開催回数：8回 参加者数：延べ93名</p> <p>・農家への巡回、指導等の際に酪農ヘルパー制度の周知を行った。</p>	<p>農林水産部担い手支援課</p> <p>農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課、森林・林業経営課</p> <p>農林水産部担い手支援課</p> <p>農林水産部畜産課</p>

4 起業家等に対する支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 情報や研修機会の提供	・「MIEグローバル・スタートアップカフェ」の開催(6回)などを通じて、起業に関する情報や研修機会を提供した。	雇用経済部中小企業・サービス産業振興課
(2) 商工団体による創業促進の支援	・創業を促進する商工団体の取組を支援した。 創業支援実績：178者	雇用経済部中小企業・サービス産業振興課
(3) 6次産業化等で起業しやすいよう研修会を通じた情報提供・能力開発	・漁村女性アドバイザー等を対象に研修会を実施した。 県内全地域を対象とした研修会：2回	農林水産部担い手支援課、水産資源・経営課
就農のための情報提供	・農林水産支援センターと連携し、就農・就職フェアを開催した。 開催回数：2回 参加者数：延べ133名	農林水産部担い手支援課
(4) 国等関係機関と連携した女性アスリートの発掘・育成・強化	・女性アスリートタレント発掘・育成事業 ～MIEスーパー☆(スター)プロジェクト～ 女子ラグビーに種目特化したアスリートを発掘・育成する事業を実施した。 ○教育・育成プログラム 12回 ○キャンプ 2回 ○専門プログラム 92回 ○第2期生認定証授与式(7名認定) 鈴木英敬競技力向上対策本部長が認定証を授与 開催日：平成30年1月7日(日) 場 所：プラザ洞津 【参考】第1期生認定証授与式(6名認定) 開催日：平成29年1月8日(日) 場 所：プラザ洞津	地域連携部競技力向上対策課
(5) 女性アスリートおよび指導者への研修会の開催	・女性アスリートおよび指導者への研修会を年2回開催した。 ○第1回研修会 テーマ：「女性アスリートにおける月経関連トラブルのサポート」 開催日：平成29年7月9日(日) 場 所：プラザ洞津 ○第2回研修会 女性アスリートのセカンドキャリアを考えるシンポジウム テーマ：「女性アスリートのセカンドキャリアを考える」 開催日：平成30年1月6日(土) 場 所：高田短期大学 講堂	地域連携部競技力向上対策課

I-III 仕事と子育て等の両立できる環境整備の推進

1 多様なニーズに対応した子育て支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 待機児童解消に向けた市町の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消に向けて、認定こども園等の整備や低年齢児保育充実のための保育士加配に取り組む市町に対して支援を行った。 低年齢児保育充実事業費補助金対象市町：111か所 	子ども・福祉部少子化対策課
(2) 多様な保育等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児保育、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育等の多様なニーズに対応する取組への補助を行った。 休日保育実施数：16か所（厚生労働省調査によるH28実施数）※H29分は調査未実施 病児・病後児保育事業 実施市町：18市町（広域利用含む） 	子ども・福祉部少子化対策課
子ども家庭相談・子ども医療ダイヤルの実施	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する相談窓口として「子ども家庭相談電話」を実施するとともに、看護師等が対応する「小児夜間医療・健康電話相談（みえ子ども医療ダイヤル）」を実施した。 相談件数：9,124件 （子ども家庭相談電話：235件、医療ダイヤル：8,889件） 	医療保健部地域医療推進課、子ども・福祉部少子化対策課
預かり保育の支援	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育を実施している私立幼稚園等に対し、その経費の一部を助成した。 助成幼稚園数：25園 	子ども・福祉部少子化対策課
(3) 施設型・地域型給付による、幼児教育・保育の総合的な提供	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付（幼稚園・認定こども園・保育所）および地域型給付（小規模保育等）を行い、幼児教育・保育の総合的な提供を図った。 	子ども・福祉部少子化対策課
(4) 放課後児童クラブの設置・運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの設置・運営に係る経費の一部を助成した。 放課後児童健全育成事業 実績クラブ数：377クラブ 放課後児童クラブの指導員等を対象に研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童支援員県認定資格研修 開催回数：県内3会場 計4回 ○子育て支援員研修（放課後児童コース） 開催回数：県内1会場 計1回 	子ども・福祉部少子化対策課
(5) ファミリー・サポート・センターの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センターの運営に係る経費の一部を助成した。 助成対象数：20市町 実施市町数：27市町 	子ども・福祉部少子化対策課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(6) 地域子育て支援センターの運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て支援の中核となる地域子育て支援センターの運営を補助し、子育て家庭の交流、相談事業活動を行う市町を支援した。 助成対象数：122箇所 実施市町数：29市町 	子ども・福祉部少子化対策課
乳幼児を持つ家庭の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえの親スマイルワーク（旧子育てはっぴいパパ・ママワーク）」を開催した。 開催回数：61回 参加者数：776名 	子ども・福祉部少子化対策課
市町の児童相談体制支援と専門的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の児童相談対応力を強化するため、「児童相談体制強化確認表」をツールとして、全市町と児童相談センター、管轄の児童相談所が連携して体制強化に向けた取組の具体化を進めた。 ・各児童相談所において、心理職員や精神科医による、心理学的検査、精神医学上の判定など専門的な支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
保育士等からの相談に対応	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターにおいて保護者や保育士、幼稚園教諭からの相談に対応した。 相談件数：49件 	教育委員会事務局研修企画・支援課
(7) 潜在保育士等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・潜在保育士の現場復帰支援研修や就労相談および新任保育士の就業継続支援研修を実施した。 潜在保育士現場復帰支援研修 参加者数：13名 就労相談件数：592名 新任保育士就業継続支援研修 参加者数：207名 	子ども・福祉部少子化対策課

2 男性の育児参画の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児参画が大切であるという考え方が広まるよう男性向けのハンドブックを作成し、企業や各種イベントにおいて配布した。 作成部数：サンキュー育休ハンドブックの作成、配布10,000部 	子ども・福祉部少子化対策課
イクボスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の仕事と家庭の両立を支援する組織風土を醸成するため、イクボスの推進に向けた取組を実施した。 ○全所属長のイクボス宣言の実施 ○イクボス実践研修の実施 平成29年10月23日（月） 参加者数：14名 ○イクボス度調査の実施（6月、2月） ○イクボスメールマガジンの配信（年5回） 	全部局、総務部人事課
(2) 男性の育児参画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生き抜いていく力を育てる「育児男子」を育成することをポイントの一つに位置付けた「みえの育児男子プロジェクト」に関するさまざまな取組を実施した。 〈第4回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ〉 表彰式開催日：平成29年11月23日（木・祝） 実施場所：県立石薬師高校 応募総数：431件 内容：表彰式、受賞者紹介、講演会 	子ども・福祉部少子化対策課
(3) パタハラのない職場づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・パタニティ・ハラスメントの防止に向け、「職場におけるマタハラ、パタハラ防止マニュアル」を用い、県内の企業等へ取組を促した。また、具体的な事例や相談窓口を記載した労働者向けリーフレットを県内各地で配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

3 介護を支援する環境の整備

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 老人福祉施設等の整備	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉施設等の整備を支援した。 主な整備数：特別養護老人ホーム 5施設、300床 	医療保健部長寿介護課
地域包括支援センター運営の支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターに係る研修会を開催した。 開催回数：4回 地域ケア会議へ専門家を派遣した。 派遣人数：延べ33名 地域支援事業に係る勉強会を開催した。 開催回数：2回 	医療保健部長寿介護課
軽費老人ホーム等の運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 居宅で生活が困難な高齢者が、低額な料金で安心して生活を送ることができるよう、軽費老人ホーム等35施設に対し運営費助成を行った。 	医療保健部長寿介護課
介護予防に係る取組の支援	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防事業従事者向け研修会を開催した。 開催回数：1回 地域支援事業に係る勉強会を開催した。 開催回数：2回 	医療保健部長寿介護課
(2) ホームページでの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 県のホームページにおいて、介護保険制度の仕組みなど高齢者福祉・介護保険に関するさまざまな情報を提供した。 	医療保健部長寿介護課
(3) 介護保険制度の運営に係る研修	<ul style="list-style-type: none"> ①要介護認定調査員、②介護認定審査会、③要介護認定適正化、④介護給付適正化に関する研修会を開催した。 開催回数：計11回（①2回、②5回、③3回、④1回） 	医療保健部長寿介護課
介護サービス等に関する相談	<ul style="list-style-type: none"> 三重県国民健康保険団体連合会等が介護サービス利用者や家族等からの相談、苦情に対応した。 	医療保健部長寿介護課
介護保険相談・苦情・事故発生時の対応マニュアルの配布	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスに関する相談・苦情があったときや、事故が発生したときの対応マニュアルを全ての介護サービス事業所、保険者（市町等）に配付し、介護サービスの質の向上を図るための情報を共有した。 	医療保健部長寿介護課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(4) 介護支援専門員の 育成	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修受講試験および実務研修を実施した。 受験申込者数：2,132名 累計登録者数：10,259名（見込み） 実務研修修了者数：410名（見込み） 研修修了者数：専門研修課程Ⅰ 154名 専門研修課程Ⅱ 510名 主任介護支援専門員研修 94名 主任介護支援専門員更新研修 104名 	医療保健部長寿介護課
介護職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰（かくたん）吸引等研修機関等の登録を適正に行い、医療的ニーズの高い利用者が安心して喀痰吸引等のサービスを受けられるよう取り組んだ。 	医療保健部長寿介護課
高齢者虐待防止支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域権利擁護支援研修会を開催した。 ○市町管理職・担当職員研修 1回、参加者数：53名 ○現認者研修 3回、参加者数：30名 ○担当者交流会 1回、参加者数：40名 ○権利擁護普及啓発研修 1回、参加者数：223名 ○権利擁護推進員養成研修 1回、参加者数：55名 	医療保健部長寿介護課
介護福祉士修学資金貸付・地域医療介護総合確保基金の活用による取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士修学資金の貸付けを実施した。 貸付数：18名 ・地域医療介護総合確保基金を活用し、県福祉人材センターによる職場体験や就業支援等を行うとともに、算入促進・労働環境の改善等を図る様々な取組に支援した。 県福祉人材センターの取組による就職者数：507名 支援団体数：44団体 	医療保健部長寿介護課

Ⅱ 男女共同参画を推進するための基盤の整備
 Ⅱ－Ⅰ 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

1 県の審議会等委員への女性の参画

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 審議会等における女性委員の選任	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に改正、平成28年4月1日から施行された「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき、男女のいずれか一方の数が委員総数の十分の四未満とならない構成をめざし、各部局へ働きかけを行った。 <li style="padding-left: 20px;">男女のいずれか一方の数が委員総数の十分の四未満とならない割合：60.4%（平成29年4月1日現在） （目標：平成32年4月1日までに全審議会等の66.7%を超える） <li style="padding-left: 20px;">女性委員のいない附属機関：5機関 （目標：女性委員のいない附属機関については、その解消を図る） 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 審議会等における女性委員の選任に向けた各部局の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各部局において、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき、取組を進めた。また、男女のいずれか一方の数が委員総数の十分の四未満となる場合には、環境生活部へ事前協議を行い、男女の委員構成を均等とするための方策を検討した。 	全部局
(3) 人材リストの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「アイリス人材リスト」を提供し、各部局における審議会等への女性委員の選任を支援した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

2 県における女性職員等の登用

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 女性職員の採用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県職員採用試験説明会等にて、仕事と家庭の両立等について経験を交えて相談に応える「女性職員相談コーナー」を昨年度に引き続き設置したほか、三重県職員採用案内パンフレットに、管理職によるイクボス宣言や支援制度の記事を掲載し、男女ともに働きやすい環境をアピールした。 説明会参加者数：12月開催（大阪）27名 12月開催（津）124名 1月開催（東京）25名 3月開催（東京）10名 3月開催（津）378名 ・少人数制（1班10名程度）の職場見学や職員との懇談を内容とする「三重県職員ガイダンス」を開催し、職場の雰囲気を感じていただくとともに、男女が共に働きやすい職場であることを周知した。 平成30年2月 13班開催 参加者数：延べ113名 	<p>人事委員会事務局</p>
<p>(2) 女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員活躍推進のための特定事業主行動計画に管理職への女性職員登用率の目標を掲げるとともに、「女性登用の推進」を人事異動方針の項目に掲げた。 管理職への女性職員登用率：9.8% 本庁知事部局における管理職への女性職員登用率：9.7% （平成29年4月時点、教員および警察職員を除く県職員） ・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、女性の職業選択に資する情報を公表した。 	<p>総務部人事課</p>
<p>女性教職員の登用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」にかかる特定事業主行動計画に基づき、管理職に占める女性職員の割合を高める方針を明確にし、取組の実施状況等について公表した。 ・引き続き、「平成29年度小中学校教職員人事異動実施要領」および「県立学校教職員人事異動実施要領」の中に、「女性の積極的な登用を図る」と記載するとともに、教頭任用候補者選考においては、校長推薦枠を「男女各2名以内、ただし女性は3名まで推薦可」と明示した。 ・これを受け、小中学校にあつては市町等教育委員会に、県立学校にあつては県立学校長に、それぞれこの趣旨を伝え、管理職選考試験への女性教職員の受験を奨励するとともに主任等への積極的な登用を依頼した。 <ul style="list-style-type: none"> ○新たに管理職に登用した女性の割合 小中学校：25.3%、県立学校：14.3% ○管理職に占める女性の割合 小中学校：19.0%、県立学校：10.6% ○平成29年度実施の管理職選考試験受験者に占める女性の割合 小中学校：20.0%、県立学校：13.4% 	<p>教育委員会事務局教職員課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく「三重県警察における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」（平成28年度策定）において、「平成31年度までに、全女性警察官に占める警部補以上の女性警察官の割合をおおむね15%にすることと、男性職員の配偶者出産休暇の取得率を65%以上に、育児参加休暇の取得率を15%以上にすること」を目標に掲げており、女性警察官の採用・登用の拡大、働きやすい職場環境づくり、休暇制度の周知に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ○全女性警察官に占める警部補以上の女性警察官の割合：13.9%（平成30年4月1日現在） ○男性職員の配偶者出産休暇取得率：55.2% ○男性職員の育児参加休暇取得率：24.5% ・女性警察官等の勤務意欲および昇任意欲の更なる向上を図る目的で、警察本部において「女性職員キャリアアップセミナー」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年10月27日（金） 参加者数：女性職員32名 	<p>警察本部警務部警務課</p>
<p>(3) 女性職員の活躍につながる研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員がこれまでの働き方を見つめ直し、自分らしさを生かしながら、前向きに自分のキャリアを描くための研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年12月4日（月） 参加者数：13名 	<p>総務部人事課</p>
<p>(4) 多様な現場や職務経験の機会付与</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用後8～10年の間に、県政に対する幅広い視野の育成を図るとともに、子育て等によりキャリアの中断が生じても、その後のキャリアデザインを前向きに描けるよう、多様な現場や職務を経験させることを意識した配置を行った。 	<p>総務部人事課</p>
<p>(5) 管理職に対する研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新任所属長研修において、所属職員の人材育成およびマネジメント能力等の向上を図る研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年5月15日（月）、平成29年5月22日（月） 参加者数：77名 	<p>総務部人事課</p>
<p>職員研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の視点に立った行政の推進を図るため、本庁職員を対象に、9月に人権研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 研修会参加者数：2,595名 	<p>総務部人事課、環境生活部人権課</p>

3 市町等への働きかけ

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 市町における男女共同参画推進の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市町の取組に活用できる情報の提供や事業の共催等により、市町における男女共同参画の推進を支援した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>市町の職員を対象にした研修等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の職員を対象に出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：16回、参加者数：3,206名 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 「三重県女性の参画マップ」の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県女性の参画マップ」を作成、ホームページで公表し、県内における審議会等に関する女性登用状況の見える化を図った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>三重県内における男女共同参画施策等の推進状況の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内閣府調査に県独自の調査項目を追加し、市町における男女共同参画施策等推進状況に関する調査を実施した。また、その結果を「三重県内における男女共同参画施策等の推進状況」としてまとめるとともに、一部をホームページで公開した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(3) フレンテトーク等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、出前講座「フレンテトーク」等を実施した。 開催回数：128回（フレンテトーク122回、出前フレンテ6回） 参加者数：12,406名 対象：市町、団体、企業等 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

Ⅱ－Ⅱ 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進

1 男女共同参画に関する広報・啓発の充実

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 報道機関への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 報道機関に対して、県の男女共同参画に関する事業について積極的に情報提供を行った。 報道機関への情報提供数：93件 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
県民への啓発とニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、事業を通して23,425名の参加があり、男女共同参画について啓発するとともに、アンケート等によりニーズの把握に努めた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
教材の提供	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、啓発パネル「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ～自分のことはもっと自分で決められる～」を作成し、これまでに作成したパネルもあわせ貸出を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「男女共同参画週間」における広報	<ul style="list-style-type: none"> 6月23日～29日の「男女共同参画週間」について、テレビ・ラジオ等の県広報番組で周知するとともに、県庁1階県民ホールにおいて同週間にちなんだパネル展示を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「女性に対する暴力をなくす運動」期間における広報	<ul style="list-style-type: none"> 11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」について、テレビ・ラジオ等の県広報番組で周知するとともに、同期間中のイベント等において「DV相談先一覧カード」を配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
差別をなくす強調月間	<ul style="list-style-type: none"> 差別をなくす強調月間（11月11日～12月10日）にテレビスポットを放映、街頭啓発を実施した。 	環境生活部人権センター
県の広報・出版物への男女共同参画視点の導入	<ul style="list-style-type: none"> 県の広報・出版物について、男女共同参画の視点に立った表現となるよう庁内関係課へ助言した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) インターネット人権モニター事業	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上の差別事象の流布状況の調査研究、モニタリングを実施した。また、地域のキーパーソン養成をめざし、インターネット人権ソーシャルウォッチャー養成講座を開催した。 開催：3か所、参加者数：179名 	環境生活部人権センター
(3) メディア・リテラシーを高める教育	<ul style="list-style-type: none"> 固定的な性別役割分担意識や性差による偏見の解消へつながるよう、女性および性的マイノリティの人権に関わる人権学習指導資料の活用を促進した。 	教育委員会事務局人権教育課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(4) 県民人権講座	<ul style="list-style-type: none"> ・「セクシャルマイノリティへの差別と偏見の所在～わたしの実体験を通じて～」と題した講座を開催した。 参加者数：237名 	環境生活部人権センター
人権フォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・人権フォトコンテストを実施した。 応募数：197点 	環境生活部人権センター
人権文化のまちづくり創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テキスト「人権のまちづくりのすすめ」を活用した、住民等が主体となった研修会に講師等を派遣した。(すべての人にやさしい人権のまちづくり研修支援事業) 研修会等の開催：計37回 	環境生活部人権課
映画上映等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画を考えるメッセージを発信し、意識を啓発するため、「フレンテみえ」と県内4市町男女共同参画センター、21市町と連携して「三重県内男女共同参画連携映画祭2017」を開催した。 開催回数：20回 参加者数：6,395名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(5) 企業への情報提供・企業の取組紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、企業登録制度に登録する企業へ年6回、男女共同参画に関する情報提供を行った。また、「男女共同参画フォーラム～みえの男女2017～」で、11企業の取組をパネルで紹介した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

2 学校等における男女共同参画教育の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 人権保育専門講座	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等を対象に人権保育専門講座を実施した。 受講者数：延べ582名 	子ども・福祉部少子化対策課
私立学校での人権教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進担当者の活動の条件整備や、教職員人権教育研修および人権教育推進協議会等の運営、人権を考える児童・生徒の集いなどの事業を推進する私立学校に対して、その経費の一部を助成した。 助成学校数：17校 	環境生活部私学課
教職員向け研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講師を招聘し、男女共同参画にかかる講義や質疑応答形式等により研修を深めた。 ・各学校において文部科学省や県教育委員会が作成したリーフレット等や、研修会の講演資料等を活用し、校内で報告を行うなど研修を実施した。 ・男女共同参画の社会づくりに関する学習展開例等を掲載した人権学習指導資料を活用した研修を実施した。 	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、人権教育課
男女共同参画研修	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した研修（「ネットDE研修」）において、県内の教職員を対象に男女共同参画に関する研修を実施した。 5講座 受講者数：892名 	教育委員会事務局研修推進課
(2) 高等学校教育での推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会作成の人権学習指導資料等の活用を促進するとともに、生徒向け学習資料を作成し、男女共同参画や性的マイノリティの人権について理解を深めるための学習活動の充実を図った。 	教育委員会事務局高校教育課、人権教育課
(3) 取組状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に係る取組状況調査を実施した。 ○男女共同参画に係る校（園）内研修を実施している学校（幼稚園を含む）の割合：80.1% ○教科等に男女共同参画の視点を位置づけて指導した学校（幼稚園を含む）の割合：98.6% 	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課
高等学校教育での推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科では男女が協力して家庭を築くことの認識について、公民科では職業生活や社会参加における男女共同参画について、それぞれ学習を進めた。 	教育委員会事務局高校教育課
(4) 保護者等と連携した研修	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、研修の充実を図るとともに、PTAや人権ネットなどとの共催により、保護者や地域等に男女共同参画についての意識を高める取組を実施した。 	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(5) 学校における人権教育の推進</p> <p>(6) 高等学校教育での推進</p> <p>(7) 高等学校教育での推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校における研修実施の支援や学習指導資料の活用講座等を行い、性的マイノリティの人権に係わる問題を解決するための教育の推進を図るとともに、人権学習の取組に係る実践研究を実施し、その成果を全県立学校へ情報提供した。 ・総合的な学習の時間や特別活動を中心に、生徒のキャリア発達を促し、生徒自身の適性や将来設計に基づいた主体的な進路選択の在り方について学習を進めた。 ・社会人講師や卒業生等、外部人材の活用を推進し、小学生から高校生まで発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の充実を図った。 ・女子中高生が理系進路の魅力を知り、理系に進もうという意思を高めることを目指した「女子中高生夏の学校2017～科学・技術・人との出会い～」(独立行政法人国立女性教育会館主催)を各県立高等学校に周知した。 	<p>教育委員会事務局 高校教育課、小中学校教育課、人権教育課</p> <p>教育委員会事務局 高校教育課</p> <p>教育委員会事務局 高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課</p> <p>教育委員会事務局 高校教育課</p>

3 生涯を通じた学習機会の充実

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 社会教育推進のための研修	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員、社会教育主事など社会教育に関わる職員や団体の指導者等に対する研修会を実施した。 開催回数：24回、参加者数：628名 	教育委員会事務局社会教育・文化財保護課
(2) 地域で活躍できる人材育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男女共同参画の視点をもって防災・減災に取り組むリーダーを養成する講座を開催した。 〈地域リーダー養成講座〉 「誰もが安心できる避難所のために」 開催市町：尾鷲市、川越町 参加者数：計39名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
地域人権啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域防災総合事務所・地域活性化局が中心となってミニ人権講座、行政機関等のトップセミナー、講演会などを実施した。 参加者数：4,519名 	環境生活部人権センター
(3) 女性一人ひとりの力を引き出す講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性一人ひとりの力を引き出す講座を実施した。 〈情報コーナーミニセミナー〉 「育休中に描くママのこれからの働き方」 参加者数：10名 「笑顔が増える両立のヒント」 参加者数：4名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

4 国際的な動きへの対応と活動支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) UN Women 「HeForShe」との 連携を目指した取 組</p>	<p>・UN Womenがジェンダー平等を目指して展開する「HeForShe」との連携に向け、情報収集を行うとともに、UN Women日本事務所と意見交換を行った。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 多文化共生啓発事 業</p>	<p>・NPO、経済団体、行政等のさまざまな主体と連携して、多文化共生社会づくりに向けた啓発イベントを実施した。 開催日：平成29年10月8日 ※伊賀市国際交流フェスタと同時開催 開催場所：とれたて市ひぞっこ（伊賀市平野西町） 参加者数：220名（県ブースの参加者数） 参加団体：6団体（県含む）</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>多文化共生社会実 現への取組</p>	<p>・外国人住民の地域社会への参加・参画を進めるため、外国人住民が生活していく上で必要となる基本的な行政や制度に関する情報を、多言語ホームページ（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、英語、日本語）で、外国人住民のニーズに合った形で迅速に提供（ビデオ情報6件、文字情報48件）した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

Ⅲ 男女が安心して暮らせる環境の実現
Ⅲ－Ⅰ 家庭・地域における男女共同参画の推進

1 家庭、地域、職場におけるバランスのとれた生活への支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 家庭の日の取組	・関係機関と連携し、家庭の日の啓発等を行った。 取組内容：家庭の日のポスター展（平成30年3月）	子ども・福祉部少子化対策課
(2) ワーク・ライフ・バランスを考える機会の提供	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ワーク・ライフ・バランスをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：15回、参加者数：823名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 貸付制度の運用	・育児・介護休業取得者に対する貸付制度を運用した。	雇用経済部雇用対策課
(4) 認知症に関する相談窓口の設置	・三重県認知症コールセンターを設置した。 相談件数：219件	医療保健部長寿介護課

2 地域活動における男女共同参画の促進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 自治会等の取組への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、自治会等からの相談を受け、それぞれに合ったテーマの出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：3回、参加者数：217名 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 県民と連携・協働した男女共同参画推進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、「フレンテまつり」や「男女共同参画フォーラム～みえの男女2017～」などで、県民と連携・協働した講座等を開催し、男女共同参画に関する理解の促進や意識の普及を図った。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>多様な環境教育の場や機会の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境分野の取組に男女がともに参画できるよう、環境学習情報センターを拠点に、環境講座、体験学習、環境学習指導者の養成等を実施した。 参加者数：35,983名 	<p>環境生活部地球温暖化対策課</p>
<p>男女共同参画の視点をふまえ多様な主体と連携した観光振興施策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に立ち上げた行政機関、観光関係団体、交通事業者や農林商工業関係団体等で構成する「みえ観光の産業化推進委員会」において、「観光の産業化」の推進、日本版DMO創設に向けた検討、戦略的な観光宣伝活動等に取り組んだ。 平成29年10月18日、観光業の持続可能な発展における女性の役割をテーマとした「持続可能な観光国際年」記念国際観光シンポジウム三重会議（主催：観光庁、三重県）を開催した。 	<p>雇用経済部観光政策課</p>
<p>(3) みえ次世代育成応援ネットワーク事業の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成支援の具体的な取組を進めるため、みえ次世代育成応援ネットワークの会員企業・団体の拡大を図った。 会員数：1,554団体・企業（平成30年3月31日現在） 11月の「子ども虐待防止啓発強化月間」において、会員企業・団体が取組に参画し、県が実施するキックオフセレモニーや街頭啓発への参加や子ども虐待防止・いじめ防止に関する会員独自の活動を行った。 子どもや子育て家庭を中心に、さまざまな人の交流を図り、社会全体で子育てを応援する気運を醸成するため、「子育て応援！わくわくフェスタ」を実施した。 開催日：平成29年11月23日（木・祝） 開催場所：県立石薬師高等学校 出展団体・企業等：61団体・企業 参加者数：約6,000名 	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(4) ボランティア活動の促進</p> <p>情報誌の発行・ネットワーク化の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県ボランティアセンターにおいて、ボランティア活動に関する情報提供およびボランティアコーディネーター養成研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 〈ボランティアセンターメールマガジンの配信〉 登録者数：192名 配信回数：15回 〈養成研修〉 〈ボランティアプログラムづくり〉 同プログラム 2回 〈ボランティアのリスクマネジメント〉 1回 上記2つの研修を受け、養成した人数 32名 ・ 市民活動ボランティアニュースを発行（年4回）するとともに、NPO等の活動やネットワーク化の支援を行った。 ・ 地域課題に取り組むNPOの活動成果を共有するための発表会として、三重NPOグランプリを実施するなど、NPO活動について啓発や情報発信に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ◆三重NPOグランプリ （本選）12/17(日)アスト津3階 みえ県民交流センターで開催 （予選）12月上旬 7地域で開催。予選参加団体：31団体 	<p>子ども・福祉部地域福祉課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

3 男女共同参画の視点に立った防災活動の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 防災分野での政策・方針決定過程への女性参画拡大、防災関連計画への男女共同参画視点の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県防災会議の女性委員数の増加 <p>平成30年3月、委員の任期満了に伴い、新たな委員の就任を依頼した。その際、知事名による依頼通知に次の一文を掲載した。</p> <p>「三重県では、県の附属機関への委員の選任に当たり男女の委員構成が均衡のとれたものとなるよう要綱を定め、取り組んでいます。このたびの貴機関からの委員推薦にあたっては、肩書き等にこだわらず女性を積極的に推薦していただきますよう、よろしくお願いいたします。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月、女性委員の数は、前期の4名が今期は5名となり、1名増加という結果になった。 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(2) 消防団活性化促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県消防協会と連携し、全国的女性消防団独自の活動等の発表が行われる、全国女性消防団活性化広島大会に参加する女性消防団員等に、参加のための支援を行った。 <p>開催日：平成29年11月16日（木） 場所：広島県広島市 参加者数：県内参加者71名（うち、女性団員58名）</p>	<p>防災対策部消防・保安課</p>
<p>自主防災組織リーダーの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の自主防災組織の中核を担う人材が、防災に関する基礎知識や消防団との連携をはじめ、男女共同参画の視点等組織の運営に必要な知識を身につけることにより、地域防災力を向上させることを目的として「自主防災組織リーダー研修」を県内3か所で開催した。 <p>受講者数：鈴鹿会場 21名、松阪会場 44名 尾鷲会場 9名</p>	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(3) 「避難所運営マニュアル策定指針」の水平展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営や、避難所における障がい者、外国人への配慮について、「三重県避難所運営マニュアル策定指針」および「三重県避難所運営マニュアル基本モデル」を用いた避難所単位の運営マニュアル作成の取組が県内地域に水平展開されるよう、市町の取組に対し実地支援を行った結果、新たに鳥羽市、朝日町、明和町でも実施されるなど、合わせて9市町15地区で取組が行われた。 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(4) 女性防災人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」の人材育成事業において、市町および地域、企業の防災対策における意思決定や防災、災害時の活動を担い得る女性防災人材の育成を図った。 <p>【講座概要】</p> <p>〈女性を中心とした専門職防災研修〉 7月～10月の間で、共通4日間、専門（2種類：①医療・看護分野、②保健・福祉・介護分野）2日間の計6日間17講座を開催 修了者数：21名（うち女性14名）</p> <p>〈みえ防災コーディネーター育成講座（女性と若い世代を中心に受講者を募集）〉 7月～10月の間で育成講座を10回開催し、みえ防災コーディネーターの新規育成を行った。 認定者数：36名（うち女性16名）</p>	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>

Ⅲ－Ⅱ 生涯を通じた男女の健康と生活の支援

1 生涯にわたる健康の管理・保持・増進の支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 健康づくりへの取組推進</p> <p>地域での取組実施</p> <p>みえの健康指標の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりを推進する市町、企業、団体等に対し、会議や研修会の機会を利用し、健康づくりの取組の働きかけを行った。 ・平成25年度に発足した「地域の健康づくり研究会」を1回実施し、ソーシャルキャピタルを活用した健康づくりを推進した。 ・9月7日の県民健康の日に合わせて、県立図書館で健康づくりのポスター掲示や啓発パンフレットの配布を行った。また、地域での講演会の開催等に合わせて、健康づくりの啓発を行った。 ・みえの食フォーラムを1回開催し、野菜摂取推進の取組や食育に関する啓発を行った。また、糖尿病予防事業として、企業と連携し、職場の食堂において減塩表示や減塩メニューの提供などの実践活動を推進した。(平成29年：28施設) ・生涯にわたる歯と口の健康づくりについて、県立図書館と連携したセミナーにおいて啓発した。 開催回数：1回 参加者数：59名 ・健康づくり事業を進める上で重要な保健医療情報である「みえの健康指標」を提供した。 	<p>医療保健部健康づくり課</p> <p>医療保健部健康づくり課</p> <p>医療保健部健康づくり課</p> <p>医療保健部健康づくり課</p> <p>医療保健部健康づくり課</p>
<p>(2) がん検診受診率向上に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん、子宮頸がん等のがん検診受診率向上を図るため、がん啓発月間である9月に図書館で啓発展示を行った他、企業やNPOと連携して、啓発リーフレットの配布を行った。 	<p>医療保健部健康づくり課</p>
<p>(3) 医療機関情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県広域災害・救急医療情報システム「医療ネットみえ」により、県内医療機関情報を提供した。また、10月1日にシステムを更新し、より検索しやすくなるよう「医療ネットみえ」を改良した。 平成29年度「医療ネットみえ」アクセス件数：738,015件 	<p>医療保健部地域医療推進課</p>
<p>(4) 自殺対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策強化月間および自殺予防週間に合わせて街頭啓発を年2回実施した。また、こころの健康づくりネットワーク会議を1回開催し、民間団体との連携強化を図った。さらに、うつ病対策を進めていく体制を推進するために、かかりつけ医等を対象にうつ病対応力向上研修を1回実施した。 	<p>医療保健部健康づくり課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(5) 総合型地域スポーツクラブの育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの育成支援を実施した。 平成30年3月31日現在のクラブ数：28市町65クラブ 	地域連携部スポーツ推進課
みえスポーツフェスティバルの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・県民に幅広いスポーツ・レクリエーション活動を実践する場をつくり、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図るため、「みえスポーツフェスティバル」を開催した。 平成29年度参加者数：25,466名 	地域連携部スポーツ推進課
県立学校体育施設の一般開放	<ul style="list-style-type: none"> ・諸事情により開放できない2校を除く全ての県立学校において施設を一般に開放した。 開放校数：69校 利用件数：12,511件 利用者数：229,369名 	教育委員会事務局保健体育課

2 性と生殖に関する健康支援の充実

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 思春期健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 各保健所で思春期のこころと身体に関する電話相談を実施するとともに、学校等関係機関と協議し、健康教育を実施した。 	子ども・福祉部子育て支援課
(2) 性に関する指導支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校に産婦人科医や助産師等の専門家を派遣し、学校や生徒の実態に応じ、性に関する課題解決のための講話や講演等を行った。 派遣回数：18回 	教育委員会事務局保健体育課
(3) 母子保健支援者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 各市町の母子保健体制の核となる人材として「母子保健コーディネーター」の育成を行った。 育成数：27名 	子ども・福祉部子育て支援課
周産期医療体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 総合周産期母子医療センター2か所と、地域周産期母子医療センター3か所を中核に周産期医療を提供した。 	医療保健部地域医療推進課
(4) 不妊専門相談センター	<ul style="list-style-type: none"> 「不妊専門相談センター」において不妊に関する電話相談を実施した。 相談件数：165件 	子ども・福祉部子育て支援課
不妊相談検討会	<ul style="list-style-type: none"> 不妊に関する各分野の代表で構成する「不妊相談検討会」において、不妊相談の効果的な実施および今後のあり方について検討するとともに、関係諸機関とも協議を重ね円滑な連携に努めた。 検討会実施回数：1回 	子ども・福祉部子育て支援課
特定不妊治療費助成事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦に対してその費用の一部を助成した。 助成件数：2,382件 	子ども・福祉部子育て支援課
(5) へき地等で勤務する医師および小児科、産婦人科などの医師確保	<ul style="list-style-type: none"> 三重県医師修学資金貸与制度の運用を通じて、小児科、産婦人科など医師不足が著しい診療科の医師およびへき地等で勤務する医師の確保に努めた。 新規修学資金貸与者：54名 	医療保健部地域医療推進課
看護職員の確保および定着促進	<ul style="list-style-type: none"> 看護学生に対する修学資金の貸与等により看護職員の確保に努めるとともに、院内保育所の設置支援、新卒看護職員研修会の開催など、看護職員の定着促進の取組を進めた。 看護師等修学資金新規貸与者数：28名 新卒看護職員研修会の開催：7回 新卒助産師研修会の開催：4回 	医療保健部地域医療推進課

3 自立のための生活支援

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 在宅障がい児 (者)支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の障がい児(者)を支援し、介護者の負担軽減を図るため、居宅介護、生活介護、短期入所、児童発達支援、放課後等デイサービス等の経費を支給した市町に対し費用の一部を負担した。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域移行を進めるため、グループホームや日中活動の場の整備に取り組むとともに、福祉型障害児入所施設にコーディネーターを配置し過齢児の地域移行を進めた。また、重度障がい者等が円滑に地域移行できるよう生活支援を行った。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所等を指定した。 就労移行支援事業所：8か所 就労継続支援A型事業所：7か所 就労継続支援B型事業所：26か所 	子ども・福祉部障がい福祉課
広域的・専門的な障がい者の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内9障害保健福祉圏域に設置されている広域的な相談支援窓口において相談支援を実施した。 相談登録者数：6,905名(平成30年3月31日時点) また、自閉症・発達障がい、高次脳機能障がい、重症心身障がいに関する高度で専門的な相談支援を実施した。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就労を支援すべく就労安心事業等を実施した。 就労安心事業：74名 県庁舎における職場実習事業：3名 就労支援講座：6名 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の重度障がい者(児)に対し、浴槽、特殊寝台などの日常生活用具の給付事業を実施する市町に補助を行った。 	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者に対する職業訓練の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就職を促進するため、就業を目的とした職業訓練を委託実施し、職業訓練の機会を提供した。 受講者数：59名(うち前年度からの繰越17名) ・身体障がい者を対象にOA事務等に関する職業訓練を実施し、就業を支援した。 受講者数：6名 	雇用経済部雇用対策課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
早期からの一貫した教育支援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子どもたちへの支援が早期から行われ、学校間で支援情報が引き継がれるよう、小中学校におけるパーソナルカルテの活用状況を把握し、市町教育委員会と連携して、学校へ活用を働きかけた。 特別支援学級においてパーソナルカルテを活用している小中学校の割合：80.9% 	教育委員会事務局特別支援教育課
特別支援学校卒業生の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の生徒が企業へ就労できるよう、生徒本人に適した職種・業務と必要な支援の方法を企業に提案する形の職場開拓を行った。 ○外部人材として、県教育委員会事務局にキャリア教育マネージャー（1名）、特別支援学校にキャリア教育サポーター（3名）を配置 ○企業訪問数（1,701回） ○就労支援会議（4回） ○特別支援学校高等部生徒の一般企業就職希望者就職率（100%） 	教育委員会事務局特別支援教育課
(2) 高齢者の雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターの機能充実に向けた支援に取り組むとともに、関係機関と連携し、就職面接会を県内で2回開催するなど、高齢者の雇用促進を図った。 参加者数：202名 	雇用経済部雇用対策課
おしごと広場みえ企業と若者を結ぶマッチングサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 若年者に対し、職業相談、職業紹介等のサービスをワンストップで提供した。 利用者数：10,734名 	雇用経済部雇用対策課
(3) 母子・父子自立支援員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立支援員を各福祉事務所に配置し、母子父子家庭および寡婦等からの相談に応じ、自立に必要な支援を実施した。 	子ども・福祉部子育て支援課
資金の貸付	<ul style="list-style-type: none"> 母子家庭の母、父子家庭の父および寡婦等に対し、経済的安定と生活意欲の助長を図るとともに、扶養している児童の福祉を増進するため、資金の貸付を実施した。 貸付件数：390件 	子ども・福祉部子育て支援課
家庭生活支援員の派遣	<ul style="list-style-type: none"> 修学等自立促進に必要な事由、疾病等の事由により一時的に生活援助、保育等のサービスが必要であったり、あるいは生活環境の激変により日常生活を営むのに支障が生じている一人親家庭等に対して、家庭生活支援員の派遣を実施する市町を支援した。 	子ども・福祉部子育て支援課
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> 「ひとり親家庭等自立促進計画」に基づいて、母子・父子家庭に対する相談支援体制、医療費の助成などの経済的支援策、養育費の確保策等の総合的な生活支援を推進し、ひとり親家庭等の自立を支援した。 	医療保健部医務国保課、子ども・福祉部子育て支援課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
生活困窮者への相談支援・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 三重県生活相談支援センターにおいて、生活困窮者への相談支援を行うとともに、就労支援を行った。 新規相談件数：135件 活動・電話相談延べ回数：909回 就労者数：3名 	子ども・福祉部地域福祉課
住居確保給付金の支給	<ul style="list-style-type: none"> 離職等により経済的に困窮し、住居喪失者又は住居喪失のおそれのある者で収入・資産など一定の要件を満たす者について、住居確保給付金の支給を行った。 支給件数：1件 	子ども・福祉部地域福祉課
県営住宅の優先募集	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子世帯、DV被害者、高齢者世帯等の生活の安定のため、県営住宅の入居抽選にあたって、優先的取扱いを行った。平成29年度は17戸の優先入居を行った。 	県土整備部住宅政策課
(4) 高齢者の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が健康で生きがいを持った生活をおくるため、ボランティア活動などの地域貢献活動を行う老人クラブおよび県・市町老人クラブ連合会の活動を支援した。 助成対象老人クラブ数：1,639か所 	医療保健部長寿介護課
(5) ひきこもる若者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりの予防や長期化の防止に向け、専門相談や家族教室の実施、関係機関職員の研修会を開催した。また、関係機関支援ネットワークの構築に取り組んだ。 支援者ネットワーク研修会：2回 講演会：1回 	医療保健部健康づくり課
児童養護施設入所児童等への相談援助	<ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設入所児童に対し、児童相談所と施設が協議しながら自立支援の視点に立った指導の充実を図った。 児童養護施設、母子生活支援施設等に心理療法職員を配置し、入所児童等の心のケアを行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
若年無業者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> 若年無業者を対象に、NPO等が運営する地域若者サポートステーション（県内4箇所）を活用し、就職に必要な自立訓練と就労体験を組み合わせた支援を実施した。 新規登録者数：404名 	雇用経済部雇用対策課
(6) 啓発資料の作成	<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティのくびとの人権に関する啓発冊子を作成した。 	環境生活部人権センター
性的マイノリティに関する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、LGBTをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：14回、参加者数：5,624名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

4 自立を促進する環境の整備

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) バリアフリー化の推進</p> <p>各地域庁舎以外の県有施設での「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」整備基準による対策</p> <p>バリアフリー化の推進</p> <p>居住安定に向けた支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既設県営住宅のバリアフリー化のため、22戸の高齢者仕様の住戸改善工事を行った。 施設管理者と調整するとともに、条例の規定による手続きを行い、整備基準に適合する施設整備を行った。また、手続きが不要な場合であっても、整備基準を参考に施設整備を行った。 住宅相談窓口担当者等講習会を1回開催し、市町のリフォーム相談担当者のスキルアップを図った。 高齢者向け、子育て世帯向けの優良な賃貸住宅について、民間事業者に対しては、三重県居住支援連絡会が開催する居住支援フォーラムや作業部会、総会等において、新たなセーフティネット制度等についてPRを行った。 市町に対しては、三重県地域住宅協議会を3回開催し、国からの情報提供や住宅金融支援機構の商品説明等を行った。 	<p>県土整備部住宅政策課</p> <p>県土整備部営繕課</p> <p>県土整備部住宅政策課</p> <p>県土整備部住宅政策課</p>
<p>(2) バリアフリー観光の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本一のバリアフリー観光推進県をめざす三重県の観光地をパーソナルバリアフリー基準で調査した観光ガイドブック「みえバリ」について、県ホームページ等で紹介するとともに、観光施設等のバリアフリー調査およびアドバイスを31施設で実施した。 	<p>雇用経済部観光政策課</p>
<p>(3) 県立学校施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校のバリアフリー化推進のため、新設校（1校）に多目的トイレとエレベーターを整備するとともに、既設校の多目的トイレの改修（1校）、オストメイト設置改修（1校）を実施した。 	<p>教育委員会事務局学校経理・施設課</p>
<p>(4) 地域で育むユニバーサルデザイン学校出前授業の実施</p> <p>「三重おもいやり駐車場利用証制度」の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの意識づくりを進めるため、さまざまな主体と連携し、次世代を担う子どもたちに対し学校出前授業を実施した。 対象校：小・中・高等学校 開催数：29校 参加者数：1,979名 身体に障がいのある方や妊産婦などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などにある「おもいやり駐車場」の利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」の普及啓発を実施した。 利用証交付者数：58,476名（うち妊産婦17,661名） （平成30年3月31日までの累計） 「おもいやり駐車場」登録届出数：2,122施設 4,270区画 （平成30年3月31日現在） 	<p>子ども・福祉部地域福祉課</p> <p>子ども・福祉部地域福祉課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(5) 託児サービスの実施</p> <p>(6) ライフプラン、生活設計等についての情報提供</p> <p>(7) 多文化共生社会実現への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえの輝く女子フォーラム2017」等の主催イベントにおいて、無料託児サービスを実施し、誰もが参加しやすいよう配慮した。 ・金融広報委員会と共催し、ライフプラン、生活設計等について、講演や講座等を15回実施した。 参加者：延べ492名 ・医療通訳育成研修（ポルトガル語・スペイン語・フィリピン語・中国語）を開催し、医療通訳ボランティアの人材育成を図った（参加者数：62名）。 ・災害時に外国人住民への支援活動を行う「災害時外国人サポーター」を養成する研修を開催（参加者数：志摩市34名、木曾岬町41名）したほか、外国人住民を主な対象とした防災セミナーを開催（参加者数：志摩市53名、木曾岬町33名）した。 ・外国人住民の消費者被害防止のための研修会を開催（参加者数：津市72名、松阪市27名、鈴鹿市20名）した。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部くらし・交通安全課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

Ⅲ-Ⅲ 男女共同参画を阻害する暴力等への取組

1 関係機関の連携による支援体制等の整備

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 相談機関ネットワーク会議の開催など	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の相談機関により構成される「三重県犯罪被害者支援連絡協議会」を開催し、関係機関・団体との意見交換を行った。 開催日：平成29年9月25日（月） 	警察本部警務部広聴広報課
(2) 民間の被害者支援団体と連携した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者支援のための民間団体「公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター」と連携し、被害者やその家族に対する支援、援助業務を実施するとともに、各種講習会、研修会を通じて関係機関・団体との意見交換を実施した。 	警察本部警務部広聴広報課
(3) 女性に対する暴力防止セミナーと啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県民に向けた啓発事業として、「女性に対する暴力防止セミナー」を実施した。 開催日：平成29年11月19日（日） 内容：「一人芝居『電話の女』」 出演：さかした 日出美 氏 参加者数：64名 ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に内閣府の呼びかけで行われる「パープル・ライトアップ」を実施した。同時に県内市町男女共同参画センター、市町へ呼びかけ、パネル展示などの運動事業を行った。 開催日：平成29年11月11日（土）～25日（土） 参加者：延べ442名 連携参加市町：22市町 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
相談窓口や各種支援制度に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報誌やポスター・パンフレット等をはじめ、さまざまな媒体を活用して相談窓口の利用促進や各種支援制度に関する情報提供を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課、環境生活部ダイバーシティ社会推進課、くらし・交通安全課
広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)」をはじめ、さまざまな機会を通じた広報・啓発活動を推進した。 〈犯罪被害者支援を考える集い〉 開催日：平成29年11月14日（火） 場所：松阪市 〈犯罪被害者支援に関する広報〉 開催日：平成29年11月30日（木） 場所：津市 	警察本部警務部広聴広報課
広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、テレビ放送を活用し、ストーカー・DV被害の早期相談等について広く県民に広報したほか、交番・駐在所の広報紙を活用した相談窓口の紹介や、関係機関と協働した主要駅、ショッピングセンターにおける広報啓発活動を実施した。 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
(4) アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に対する暴力防止セミナーで参加者アンケートを実施し、DVに関する現状把握に努めた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(5) 二次被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> 各種専科教養・巡回業務指導などの機会に被害者支援要員や捜査員に対し、犯罪被害者等の置かれている立場や二次被害の実例などに関する教養を実施し、二次被害の防止を図った。 	警察本部警務部広聴広報課
みえ地域人権相談ネットワーク構築事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内NPOおよび各行政機関等の相談員による相談体制の充実ならびに民間・行政のコーディネート体制を充実し、人権に配慮した相談体制の充実が図れるよう、研修会を開催した。 12講座開催、参加者数：626名 	環境生活部人権センター
(6) 加害者への対応・被害者保護	<ul style="list-style-type: none"> 加害者への対応として、検挙等の措置を講じたほか、被害者保護として、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく援助措置等を実施した。 傷害、保護命令違反等での検挙：83件 法に基づく援助措置：348件 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
(7) 加害者更正プログラムに係る情報把握	<ul style="list-style-type: none"> 国および他都道府県の動向の把握に努めた。 	子ども・福祉部子育て支援課
(8) 人権センターでの相談	<ul style="list-style-type: none"> 人権センターにおいて、セクシュアル・ハラスメントの問題を含む、さまざまな人権問題についての相談に対応するため、相談窓口を設置し、電話や面接による相談を実施した。 	環境生活部人権センター
人権相談ネットワーク会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> 18の行政関係相談機関により人権相談に係る意見、情報の交換や連絡調整など連携を図った。 開催回数：1回 	環境生活部人権センター
(9) 教職員対象の研修	<ul style="list-style-type: none"> 基本研修(初任者研修・教職6年次研修)の選択研修として、「ネットDE研修」の男女共同参画および次世代育成を支援する内容を取り入れ、男女共同参画に対する理解を深めた。 	教育委員会事務局研修推進課
児童生徒・教職員等対象の教育相談	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育センターにおいて、児童生徒や教職員、保護者を対象としたセクシュアル・ハラスメントに関する電話相談窓口を運営した。 	教育委員会事務局研修企画・支援課

2 配偶者等からの暴力の防止に係る対策の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 配偶者暴力相談支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所を配偶者暴力相談支援センターとして位置づけ、関係機関と連携し、総合的な支援を実施するとともに心理判定員や精神科医師などの専門職員による心のケアも実施した。 相談件数：305件 	子ども・福祉部子育て支援課
女性相談員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所、各福祉事務所に女性相談員を8人配置し、身近に相談できる体制を整備した。 	子ども・福祉部子育て支援課
一時保護の実施	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所において一時保護を実施するとともに、母子生活支援施設等へ一時保護を委託した。 一時保護実施人数：実人員48名（本人） 施設等への一時保護委託人数：実人員3名（本人） 	子ども・福祉部子育て支援課
外国籍DV被害者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所において通訳費用を予算措置するとともに、民間支援団体との連携協働による通訳派遣を実施するなど外国籍DV被害者への迅速な相談支援を行った。 外国人DV被害者に対応する通訳者派遣：1回 	子ども・福祉部子育て支援課
DV防止基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年3月に策定した「三重県DV防止及び被害者保護・支援基本計画」（平成29年3月改定）に基づき、取組を実施した。 (取組内容) ○高校生を含む女性を中心にDVチェック・相談機関案内を記載した啓発物品（ポケットティッシュ）を配布 ポケットティッシュ：15,000個（街頭啓発・窓口設置） ○各市町等へDV防止ポスターを配付：ポスター1,174枚 ○街頭啓発活動：県内26か所 	子ども・福祉部子育て支援課
(2) DV被害者への自立支援	<ul style="list-style-type: none"> 三重県母子・父子福祉センターにおいて、就業相談や職業紹介、資格・技術取得講座開設などの就業支援を実施した。また、各福祉事務所に配置された女性相談員や母子・父子自立支援員が、生活相談や自立に向けた資金貸付などの支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
配偶者からの暴力防止等連絡会議を開催	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関相互の情報共有、連携を図るために「配偶者からの暴力防止等連絡会議」を開催した。 [構成機関] 警察本部、地方法務局、家庭裁判所、福祉事務所、母子生活支援施設協議会、医師会、歯科医師会、男女共同参画センター、人権センター等 開催回数：1回 	子ども・福祉部子育て支援課
地域配偶者等暴力防止会議の設置	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関の連携のため、「地域配偶者等暴力防止会議」を開催した。 開催回数：5回 	子ども・福祉部子育て支援課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(3) DV相談先カードの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺サイズの「DV相談機関一覧」カード（日本語含む7か国語版）を県内関係機関に配布し、加害者の目を気にせず相談窓口の情報を入手できる環境を作った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) 県女性相談所と各児童相談所の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等において情報共有を図るなど連携を強化し、総合的な支援を実施した。 県女性相談所と児童相談所との連携：8件 	子ども・福祉部子育て支援課
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有と連携強化のため、県要保護児童対策協議会（2月22日）および児童虐待対応協力基幹病院連絡会議（3月1日）を開催した。 	子ども・福祉部子育て支援課
子どもへの支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待対応に関する医療機関の早期対応を促進するため、医療機関との共催により、医療従事者、行政関係者等に対する医学的研修会を開催した。（10回、受講者数：473名） ・妊娠期からの虐待予防に向けて電話相談「妊娠SOSみえ『妊娠レスキューダイヤル』」を実施した。（相談件数：91件） ・「三重県家庭的養護推進計画」に基づき、要保護児童等の自立支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
児童相談所との合同訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町に要保護児童・DV対策協議会（市町要対協）を設置し、子どもへの支援体制の整備・強化を図った。 市町要対協の運営強化のためのアドバイザーを派遣（8市町・8回）した。 ・ケースマネジメント等について助言・指導を必要とする市町に対しては、助言者（スーパーバイザー）を定期的・継続的に派遣（7市町・23回）した。 	警察本部生活安全部少年課
(5) 相談員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の女性相談員等の資質向上を図るため、研修会を開催した。 開催回数：4回 ・女性相談所と県市福祉事務所等とのDV被害者支援にかかる意見交換会を開催した。 開催日数：4日 	子ども・福祉部子育て支援課
人権センターでの相談	<ul style="list-style-type: none"> ・人権センターの人権相談において、DVに関する相談に対応した。 対応件数：5件 	環境生活部人権センター

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>配偶者からの暴力防止等連絡会議等への出席</p> <p>(6)</p> <p>デートDVの防止に向けた啓発等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「配偶者からの暴力防止等連絡会議」等に参加し、関係機関と情報共有・交換を実施した。 ・若年男女間の暴力（いわゆるデートDV）防止に向けた啓発を行うとともに、デートDVに係る相談を受け対応をした。 ・若年男女間の暴力（いわゆるデートDV）防止のための学習展開例を掲載した県教育委員会作成の人権学習指導資料等の活用を促進した。 	<p>警察本部生活安全部 人身安全対策課</p> <p>子ども・福祉部子育て支援課、教育委員会事務局生徒指導課、人権教育課</p>

3 性犯罪、性暴力、ストーカー対策等の推進

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 担当者の資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪被害者支援および安全相談を担当する警察職員を対象に、資質向上のための研修を実施した。 実施回数：13回 受講者数：323名 犯罪被害者支援要員（244名）による犯罪被害者支援運用件数：217件 ・ 犯罪被害者支援の専門知識・技術の習得のため、三重県産婦人科医会主催の研修会等に参加した。 ・ ストーカーおよび配偶者暴力対策を担当する警察職員を対象に、資質向上のための研修を実施した。 実施回数：4回 受講者数：200名 	<p>警察本部警務部広聴広報課</p> <p>警察本部警務部広聴広報課</p> <p>警察本部生活安全部 人身安全対策課</p>
<p>(2) 性犯罪・性暴力被害者支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性犯罪・性暴力被害者の心身の健康の回復を図る総合的な支援体制（ワンストップ支援センター）として「みえ性暴力被害者支援センターよりこ」を運営し、電話や電子メール・面談による性犯罪等の被害者からの相談に対応した。 相談件数：331件 ・ 県内短期大学や看護学校等20団体に出前講座を実施するとともに、広報カードの県内各高校への配布、県内コンビニ・イオン・産婦人科医院へのステッカー掲示、近鉄電車ドアステッカー広告（平成30年1月1日～1月31日）等広報活動を行った。 	<p>環境生活部くらし・交通安全課</p>
<p>専門家による相談の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター」と連携するなど、性犯罪被害者、DV被害者、児童虐待被害者等に対する専門家による専門相談（法律相談・カウンセリング）を実施した。 法律相談：4件、カウンセリング：5件 	<p>警察本部警務部広聴広報課</p>
<p>性犯罪の認知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察本部および各警察署において、面接相談等を実施した。 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）認知件数：49件 	<p>警察本部刑事部捜査第一課</p>
<p>性犯罪被害者への支援活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「被害者の手引」を作成、配布した。※現在5か国語に対応（日本語、英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語） ・ 診断書料等について公費負担制度を活用し、被害者の経済的負担軽減を図った。 公費負担回数：69回 	<p>警察本部警務部広聴広報課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 立入活動の実施</p> <p>子どもや女性の安全確保の取組</p> <p>街頭防犯カメラ等の設置推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三重県青少年健全育成条例に基づき、立入調査員による書店・コンビニなどへの立入調査活動を実施し、青少年健全育成協力店の登録依頼をした。 青少年健全育成協力店登録数：961件 (平成30年3月31日現在) 三重県青少年健全育成条例に基づき、警察官、警察少年補導員等が、カラオケボックス、インターネットカフェ、書店、コンビニなど、延べ325店舗への立入調査、要請等を実施した。 「安全で安心な三重のアクションプログラム」に基づき、隣接する市町の地域が行う防犯力向上の取組を支援するとともに、各地域で県民・事業者・関係団体等さまざまな主体が意見交換を行う座談会を開催した。 座談会開催地域：4地域 経年劣化により街頭緊急警報装置2基を街頭防犯カメラに切り替え設置したほか、自治体等による街頭防犯カメラ等の設置促進を図った。 街頭防犯カメラ設置数：2基 	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p> <p>警察本部生活安全部少年課</p> <p>環境生活部くらし・交通安全課</p> <p>警察本部生活安全部生活安全企画課</p>
<p>(4) 女性相談所における情報提供・相談助言および自立への支援</p> <p>加害者への対応・被害者保護</p> <p>犯罪の検挙・取締り等</p> <p>少年の福祉を害する性的犯罪等への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所として福祉制度の情報提供や相談助言を行うとともに、一時保護により自立に向けた支援を行った。 一時保護件数：36件 加害者への対応として、検挙等の措置やストーカー規制法に基づく禁止命令・警告を実施したほか、被害者保護として、同法に基づく援助措置等を実施した。 ストーカー規制法違反等での検挙：40件 禁止命令・警告：107件 同法に基づく援助実施：258件 警察本部および各警察署において、凶悪犯罪の検挙活動、あらゆる法令を活用した違法行為の取締り、警告等を実施した。 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）検挙件数：48件 少年の福祉を害する性的犯罪等の取締りを実施するとともに、関係機関と連携し、被害児童の保護・支援を実施した。 児童買春・児童ポルノ禁止法違反 検挙件数（人員）：23件（18人） 	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p> <p>警察本部生活安全部人身安全対策課</p> <p>警察本部刑事部捜査第一課</p> <p>警察本部生活安全部少年課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>人身取引防止に関する取組</p> <p>(5)</p> <p>女性被害にかかる犯罪捜査教養の実施</p> <p>警察担当職員対象の研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者の立場に十分配慮した相談・保護活動に努めるとともに、ポスターの掲示やリーフレットの配布など、人身取引防止に関する広報を実施した。 ・入国管理局、女性相談所、三重県男女共同参画センター等の関係機関と緊密かつ円滑な連携を図るため、「人身取引対策に関する関係機関連絡会議」を開催した。 ・警察本部および各警察署に配置の女性警察官に対して、女性被害にかかる犯罪捜査要領等の教養を実施するとともに、被害者の心情に配慮した性犯罪捜査を推進した。 ・犯罪被害者支援および安全相談を担当する警察職員を対象に、資質向上のための研修を実施した。 実施回数：13回、受講者数：323名 	<p>警察本部生活安全部生活環境課</p> <p>警察本部刑事部捜査第一課</p> <p>警察本部警務部広聴広報課</p>

計画の推進

1 県の推進体制の充実と率先実行

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 男女共同参画推進 会議の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する施策の円滑かつ効果的な推進を図るため、三重県男女共同参画推進会議等を開催し、事業の周知および連絡調整等を行った。 開催回数：推進会議1回、推進会議幹事会4回 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>庁内関係各課への 働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県男女共同参画推進会議幹事会」を通じて、庁内関係各課へ男女共同参画審議会における外部的評価の結果を伝達し、施策への反映を働きかけた。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(2) 次世代育成のため の特定事業主行動 計画に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 労使協働委員会男女協働小委員会において、地区別懇談会等を開催し、次世代育成支援、女性職員の活躍推進等について、意見交換を行った。 開催日：平成30年2月7日（水）伊賀庁舎 参加者数：25名 仕事と育児の両立を実践する職員を応援する次世代育成の風土を醸成するため、職員のこどもが親の職場を訪問する「こども参観」を実施した。 開催日：平成29年8月1日（火） 参加者数：161名（こども97名、保護者64名） 産育休取得により長期で職場を離れる職員への情報共有および職場を離れることへの不安軽減のため、職員として知っておきたい情報等を掲載したメールマガジンの配信を実施した。 	<p>総務部人事課</p>
<p>「子育て支援アクションプラン」の 推進にむけた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成支援推進委員会を開催し、第三期特定事業主行動計画の取組状況等について議論した。 子育て応援メールマガジン「START」の発行による所属職員の意識啓発や、育児休業中の職員へのメールによる各種情報の送付（7回）を行った。 子育て中の男性職員を対象に、「父子健康手帳」を配付した。 「子育てのための休暇取得プログラム」の実施について、グループウェアへの掲載を通じて周知した。 基本研修（初任者研修等）の選択研修として、「ネットDE研修」の男女共同参画および次世代育成を支援する内容を取り入れ、男女共同参画に対する理解を進めた。 	<p>教育委員会事務局教職員課</p> <p>教育委員会事務局研修推進課</p>

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 働きやすい職場風土づくりの推進</p> <p>基本計画等の周知</p> <p>職員向け研修への情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・マネジメントシートやOJT計画書等を活用し、所属長と職員が面談による対話を行い、職員が働きやすく、またそれぞれの能力を最大限に発揮できる職場風土づくりに努めた。 ・男女共同参画社会の実現に向け、「第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）」および「第2次三重県男女共同参画基本計画第二期実施計画（改訂版）」の周知に取り組んだ。 ・職員研修センターが行う職員向け研修への情報提供を行った。 	<p>全部局</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(4) セクシュアル・ハラスメントの防止</p> <p>セクシュアル・ハラスメントの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアル・ハラスメントをはじめとする、あらゆるハラスメントのない職場に向けて、ハラスメント防止に関する研修会を開催した。 開催日：平成29年10月16日（月）午前 10月17日（火）午前 場所：県庁講堂 参加者数：計146名 講師：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 石垣弘美 氏 対象者：新任班長・地域機関の新任課長等 	<p>総務部人事課</p>
<p>セクシュアル・ハラスメントの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアル・ハラスメントに係る教職員の綱紀肅正および服務規律の確保について、市町等教育委員会や県立学校長等へ通知（2回）を行い、趣旨の徹底を図った。 ・セクシュアル・ハラスメントの防止を含めた服務規律の確保や不祥事防止について、県立校長会議や市町等教育長会議の場で徹底するとともに、初任者研修や講師研修、教職6年次研修・教職経験11年次研修および新任管理職研修などにおいても周知徹底を図った。 	<p>教育委員会事務局教職員課</p>
<p>(5) 広聴体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえ出前トーク」を実施し、県民の皆さんとのコミュニケーションの機会を確保した。 ・県政運営上の活用を図るため、県民の声データベースシステムにより、県に寄せられた県民からの意見およびその対応結果を職員間で情報共有するとともに、県民の皆さんとも情報を共有するためウェブサイトで公開した。 	<p>戦略企画部広聴広報課</p>

2 男女共同参画に関する実施計画の策定および進行管理

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 第2次三重県男女共同参画基本計画 第二期実施計画の改訂	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2次三重県男女共同参画基本計画」の改定に伴い、第二期実施計画の改訂を行った。(平成29年6月改訂) 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 第二期実施計画による進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次三重県男女共同参画基本計画(改定版)の着実な推進を図るため、第2次三重県男女共同参画基本計画第二期実施計画(改訂版)に基づき施策の進行管理を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 年次報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県男女共同参画年次報告書を作成し、県議会へ報告した。 ・三重県における男女共同参画の現状、平成28年度事業実施概要、目標値および参考データ等を掲載した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) e-モニターアンケートなどの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する県民の意識について実態を把握するために、e-モニターアンケートを実施し、県のホームページでアンケート結果の公表を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

3 三重県男女共同参画審議会による施策評価の実施等

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 自己評価・外部的評価の実施</p> <p>(2) 庁内関係各課との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する施策の進捗状況等について、事業マネジメントシートに基づき、自己評価を実施した。 ・三重県男女共同参画審議会による外部的評価を実施し、男女共同参画の推進に関する提言および評価に対する取組方向の把握等を行った。 ・三重県男女共同参画審議会が実施した外部的評価を、庁内関係各課へ周知するとともに、引き続き男女共同参画の視点での事業実施を働きかけた。 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

4 市町等との協創

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) 市町審議会等への 参画	<ul style="list-style-type: none"> 津市、伊賀市、南伊勢町の男女共同参画審議会に委員として、鈴鹿市のSUZUKA女性活躍推進連携会議にオブザーバーとして参画した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「CITYネット男女 共同参画inみえ」 への参加	<ul style="list-style-type: none"> 県内各市の男女共同参画担当者が一堂に会し、男女共同参画の業務に関する課題や問題点について話し合う「CITYネット男女共同参画inみえ」に出席し、情報提供や意見交換を行った。 1回出席／年1回開催 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
出前フレンテの実 施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の事業に合わせ、出前啓発事業「出前フレンテ」としてパネルプレゼンテーションを実施した。 開催回数：6回、参加者数：延べ1,160名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 基本計画等に関する 情報提供および 取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 第2次三重県男女共同参画基本計画（改定版）や女性活躍推進法に基づく推進計画に関する情報を市町に提供するとともに、推進計画を策定する市町に対しては個別に支援を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 国、県、市町、企 業、団体等の取組 の発信	<ul style="list-style-type: none"> 国、県、市町、企業、団体等の情報や取組を収集し、「女性の活躍推進三重県会議」Facebookページ等で発信した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) 市町担当者研修の 開催	<ul style="list-style-type: none"> 市町男女共同参画担当職員のうち、経験年数が1～2年目の方を対象とした「基礎研修」、男女共同参画に取り組むうえでぜひ理解を深めていただきたい課題をテーマとした「応用研修」、担当課長を対象とした「課長会議」をそれぞれ開催した。 回数：「基礎研修」1回、「応用研修」1回 「課長会議」1回 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(5) 三重大学における 講義	<ul style="list-style-type: none"> 三重大学の教養教育授業「男女共同参画基礎」において、県内における男女共同参画の推進状況について講義した。 日時：平成29年5月12日（金） 受講者数：111名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(6) 「女性の活躍推 進三重県会議」企 画委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 「女性の活躍推進三重県会議」の共同代表および会員企業9社の社員による企画委員会を5回開催し、企業目線での率直なご意見を取り入れながら本会議の運営を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
企業等と連携した女 性活躍推進等の取 組	<ul style="list-style-type: none"> 「みえの輝く女子フォーラム2017」の開催にあたっては、本県リーディング企業等（計15社・団体）に協賛やリーダー層自身の参画をいただき、女性活躍推進の意義について官民一体での発信を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

5 男女共同参画センター「フレンテみえ」の機能の充実

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
(1) ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」のホームページ上で「男女共同参画ゼミ」を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
ウェルカムセミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、施設見学や講演を内容とするウェルカムセミナーを実施した。 開催回数：11回、参加者数：167名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
男女共同参画フォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ワークショップ、講演会、パネル展などを開催した。 開催日：平成29年11月11日(土) 参加者数：368名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町事業のPR	<ul style="list-style-type: none"> 「フレンテみえ」情報コーナーや「男女共同参画フォーラム」等のイベント、ホームページ等において市町のイベントや取組を紹介した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 男女共同参画強調月間	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、6月を男女共同参画強調月間と定め、パネル展、登録団体の活動発表や講演会、映画上映等を実施した。 「フレンテまつり」 開催日：平成29年7月2日(日) 参加団体：45団体、参加者数：1,980名 「逃げるは恥だが役に立つ」トークセッション 開催日：平成29年5月6日(土) 参加者数：732名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
事業での託児実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」が主催する全ての事業において託児を実施した。総合文化センターでは、一部の主催事業で託児を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 男性講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男性の男女共同参画についての理解を促進することを目指し、講座を実施した。 〈男性講座〉 「職場でも！家庭でも！きっと役立つ男性のためのコミュニケーショントレーニング2」 開催回数：2回、参加者数：延べ48名 「知って得する男の更年期 ～30代から考えるからだメンテナンス～」 参加者数：20名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
エンパワーメントスクールの開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性のより一層の社会進出や意思決定の場への参画拡大をめざし、様々なキャリアを持つ女性を対象とした講座を実施した。 <女性のためのエンパワーメントスクール> 「働く女性の『ロジカルシンキング』講座」 参加者数：32名 「この“まち”をちょっと良くしたい！私の思い、話す！ツナガル。」 開催回数：2回、参加者数：延べ27名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
DV被害者のケア・予防策	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、DV被害者のケアや予防策として、講座を実施した。 <自己尊重・自己主張トレーニング> 自己尊重トレーニング：全5回、参加者数：延べ95名 自己主張トレーニング：全5回、参加者数：延べ105名 <情報コーナーミニセミナー> 「結婚生活が息苦しい…モラハラについて考える」 開催回数：2回、参加者数：延べ21名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) 相談事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、各種相談を実施した。 電話相談：1,627件 面接相談：244件 法律相談：96件 男性のための電話相談：32件 LGBT電話相談：25件 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
相談員の能力向上・相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、毎月1回、相談コーディネーターから、対応困難な事例についての問題のとらえ方や援助方法について、指導助言を受け、相談員の能力向上と相談体制の整備を図った。 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、相談者の心情や現在の状況に合わせた相談ができるよう、外部研修に参加し相談に対する知識・技術向上を図った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
フレンテみえ相談窓口の周知	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、フレンテみえ相談室専用パンフレットを作成・配布し、「フレンテみえ」が県民からの様々な相談に対応できる相談機関であることを周知した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(5) 調査研究事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、平成28年度より2年をかけて、県立高等学校2年生を対象とした「多様な性と生活についてのアンケート調査」を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
教材の開発	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、啓発パネル「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ～自分のことはもっと自分で決められる～」を作成した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	平成29年度事業実施概要	担当課
<p>(6) 登録団体等のつどいを開催</p> <p>市町への取組支援</p> <p>地域社会における課題解決に向けた行動につながる事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、登録団体代表者のつどいおよび登録団体等のつどいを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 〈登録団体代表者のつどい〉 開催日：平成29年4月22日（土） 参加団体・人数：23団体、28名 〈フレンテ交流会「フレレク！」〉 開催日：平成30年2月12日（土） 参加者数：60名 ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の取組の推進を図るため、予算的支援と同時に事業企画やノウハウの提供、運営相談等を行った。 ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、県民、NPO、各種団体等と連携を実施し、新たなコミュニティ形成や地域社会における課題解決に向けた行動につながるような事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画フォーラム～みえの男女2017～」 開催日：平成29年11月11日（土） 参加者数：368名 「この“まち”をちょっとよくしたい！ 私の想い、話す！ツナガル。」 開催日：平成30年2月17日（土）・24日（土） 参加者数：延べ27名 	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>